

令和5年度

入善町立入善小学校

令和5年10月25日



学校だより

スマホから学校HP→



学校の教育目標 「じりつする子供の育成」

教室の様子をご覧ください。ほぼ毎日更新 <http://www.nyuzen-e.tym.ed.jp/>

登高自卑

校長 内山 真之

なぜ、「自卑同窓会」という名称なのか不思議に思われたことはありませんか。

私も3人の子供が入善小学校を卒業しました。PTA広報紙は「登高」ですし、当時は、遠足のことを「登高学習会」と呼んでいました。「登高」は、高きに登ることですし、文字からも力強さが伝わってきて、いい言葉だなと思っていました。

では、「自卑同窓会」の「自卑」はというと、あまりいい印象はなかったのです。

縁あって、創立150周年の入善小学校に勤務しました。「登高自卑」の意味を知りたいと思っていましたし、「学校だより」に書かなければという使命も感じていました。

- 明治6年の「入膳小学校」から、明治7年「自卑小学校」に校名が変わっています。
- 中国の「中庸」という書物にある「登高自卑」という成句が出典のようです。
- 「卑」は、卑しいではなく「低い」。「へりくだる」「たかぶらない」の謙虚な意味。
- 明治7年に、学校が高登（たかのぼり）という地に移ったこともあって、「登高自卑」という成句から「自卑小学校」と学校名を変更したようです。

「登高自卑」は、「低いところから高いところへ登っていこう」という意味

「入善小学校100年史」には、先輩方が「登高自卑」の解釈や意味を添えてくださっています。明治4年が廃藩置県、明治10年が西南戦争ですから、国民生活は窮乏が厳しく、生活はかなり苦しかった時代ですが、日本各地に学校が誕生しました。「新しくひらける時代の光」として、入善小学校も希望を込めて設立されたことでしょう。

「登高自卑」。「おごらず、一步一步大地をふみしめて、あせらずたゆまず高きを目指して（子供たちよ）進んでいこう」という「創校の精神」が強く感じられます。

入善小学校は創立150周年。いよいよ11月11日に創立記念式典を開催いたします。150周年記念誌「登高自卑」も、地域の皆様のお手元にお届けいたします。

10月5日～6日 6年生宿泊学習

6年生、全員参加での宿泊学習でした。雨もまた、よし。雨の中の称名滝は水量も多く、いつも以上に豪快でした。自然探検はコースを変えて、レインウォークとして、雨の森の中を歩きました。雨ならではの体験です。

お気に入りの枝を使つてのマイスプーンとマイフォークも作りました。食事の時間、キャンドルサービスも楽しかったようです。2日目は、ピザづくりにたっぷり時間をかけて、仲間との絆を深めました。

6年生は、とても明るく、コミュニケーションも積極的で、その姿を観ているだけでも楽しくなります。間違いなく、いい思い出になったようです。



運動の秋

一輪車、竹馬、鉄棒



ずいぶんと涼しくなり、運動しやすい季節になりました。この期間に、「逆上がり補助器」を設置し、一輪車、竹馬も整備しました。先生たちの声かけもあって、子供たちは早速、取り組んでいます。一輪車や竹馬、鉄棒、フラフープ、縄跳びも小学校時代にしかなかなか取り組む機会がありません。「僕のお母さん、一輪車うまかったらしいよ」と話しながら一輪車の練習。放課後にも逆上がりの練習に来る子もいます。

子供たちの「体を動かしたい」、「できるようになりたい」というエネルギーの大きさをあらためて感じました。主体的に体を動かす環境を整えていきたいものです。

学びの秋

国語「文学作品」に取り組む

文学作品（物語文）の学年中心教材に取り組んでいます。1年「くじらぐも」、2年「お手紙」、3年「ちいちゃんのかげおくり」、4年「ごんぎつね」、5年「たすねびと」、6年「やまなし」です。大人が読んでも、なかなか考え込んでしまう深さがあります。ぜひお子さんと教材文について「テーマは何だろう？」と話し合ってはいかががでしょう。



10月18日 学校巡回公演「ノートルダム物語」

学校巡回公演本番です。前回、ワークショップで学校に来てくださった劇団ショーマンシップの皆さんです。今回は、ステージからミュージカルで会場の子供たちを沸かせてくださいました。終始、子供たちの笑いとどよめき、そして歓声と笑顔に満ちたステージでした。

下校の時に「楽しかったなあ」と話しながら帰る姿がありました。きっと、子供たちの心には「勇気」や「心の美しさ」、「差別を許さない」といった「自分が感じたメッセージ」が深く残ったことでしょう。エネルギーをたくさんいただきました。

今回は、事前のワークショップに入善小学校の5、6年生だけが参加でき、公演当日もミュージカルに8名が出演できたのです。学校巡回公演は2年に一度。学校にワークショップが来るのは12年に一度となっています。5、6年生にとって本当によい機会でした。

